

事業所名

きらめき(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

2025 年

10 月

1 日

| | | | | | | | |
|-----------|--|---|------|---------|---|--|--|
| 法人（事業所）理念 | <ul style="list-style-type: none"> 元気でたくましい子、遊びが自然とまなびになる。 こどもを中心に考え一人ひとりの発達段階を踏まえた集団生活や個性に合わせた療育を目指していきます。 | | | | | | |
| 支援方針 | <ul style="list-style-type: none"> 発達段階や発達の状況に応じて、発達の過程・特性等を十分配慮しながら子どもの成長を支援する。 こどもの保護者に対し、その意向を受止め、こどもと保護者の安定した関係の配慮し支援する。 | | | | | | |
| 営業時間 | 9 時 | 0 分から | 16 時 | 0 分まで | 送迎実施の有無 | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | |
| | 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> 食事・排泄・睡眠・衣服の着脱などの基本的な生活習慣が身につくようにする。 1日の流れに見通しを立てながら行動できるようにする。 | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> のびのびと身体を動かし、表現することの楽しさを知る。見たり聞いたり考えたことを自分で想像をして自由に表現できるようになる 全身を使った粗大運動や、手先の運動を取り入れ、バランス感覚や力加減を子ども自身が身体をイメージしながら取り組めるようにする | | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 好きな玩具や遊具に興味を持ち楽しんで遊ぶ。・戸外遊びを通じ、経験したこと遊びに取り入れ豊かな感性や好奇心を養う 生活や遊びの中で見たり聞いたりしたことを友だちと一緒に発展させながら遊ぶ。・数字や文字にも少しづつ関心が持てるような活動や遊びを取り入れる | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> 保育者や友だちと一緒にごっこ遊びをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。・保育者や友だちとの会話を通して友だちということの楽しさを感じる 会話の中で自分の経験したことや感じたことを自分の言葉にし伝えることの楽しさを知る。・保育者からの語りかけを喜び言葉を伝えることを喜ぶ。 | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> 友だちと積極的に関わりながら喜びや悲しみなどの感情を共有する。 友だちと一緒に過ごす楽しさをしり簡単なルールのある遊びを通してルールを守れるようになる。・遊びの中で友だちと力を合わせたりすることの大切さを知る | | | | | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> 日々の「アプリの連絡帳」や送迎時に交わす保護者との会話・懇談会等の機会を利用し困り感に寄り添い、相談に乗る。 | | | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> 進級、卒園、入学等様々な場面での困り感に対応し保護者を支える。(相談、情報交換等) | | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> こどもを取り巻く機関(園や医療機関、相談支援事業所など)と個別支援計画などの情報共有 災害時などの協力要請 | | | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議や全体研修会、外部研修会への参加を生かし、職としての質の向上に務める。 | | |
| 主な行事等 | 入園式、卒園式、誕生会、スポーツフェスタ、わんぱくフェス、わんぱくday、遠足、お泊り保育、発表会、防災訓練、クリスマス会等 | | | | | | |